3 ESME

自治振興会だより

第26号(令和3年2月15日発行)

ばんたに自治振興会広報委員会発行 事務局:水口交流センター内 (TEL 0748-70-3198)

URL http://bantani-jichi.com

E-mail bantani@ac-koka.ip

令和2年4月~令和3年2月の 事業・報告

人権·生涯学習部会

10月31日(土)~11月1日(日)参加者 約400名



今年度はコロナウイルス 感染拡大防止対策を行い ながら、展示のみで開催い たしました。

折り紙や工作、絵画、パ ッチワークや切り絵、寄せ 植え、竹細工、、、などたく さんの作品展示をしていた だきました。

区展示の中には、コロナ禍ならではの企画「マスクコンテスト」を開催し、 その様子やマスク作品を展示されていました。コロナでの自粛期間中にチ ヤレンジすることが出来た作品や、時間のかかる作品を作ることが出来た など、コロナ禍だから出来た作品や催し物も中にはありました。





人権研修会

11月29日(日) 参加者 58名



パソコン教室 月2回開催 受講者 16名



現代社会において 必要なパソコンの知 識を身につけましょ う。エクセル、ワード の基礎を一年間で 学びます。

今年度は伴谷地区人権教育推進協議会との共催で 開催いたしました。

伴谷村役場の土蔵から戦争当時の文書が見つかり、あ まり見えてこなかった戦死者・戦病死者の公葬や、当時 の小学校の役割、軍(隊)と村長とのやり取りの文書など、 当時の戦死者遺族はどんなに辛く厳しい生活を送ってい たのか、話題提供者の松並正博氏の解説を交えながら 知ることが出来ました。

地元のお話とあってたくさんの反響をいただきました。

ばんたにっ子教室

夏:5回開催 冬:1回開催 参加者 14名

夏休み・冬休みの学習習慣の確立や居場所づくりを目的 とし伴谷小学校、伴谷東小学校の3・4・5年生を対象に学習 教室を開催しました。

講師、ボランティアスタッ フの方にお手伝いい ただき課題や学 習プリントをしま した。また工作や 昔のおもちゃ、ボッ チャなどもし、楽しい 時間を過ごしました。



散在ごみパトロール・清掃





伴谷地区から少しでも散在ごみを減らすべく、年6回パトロール・

清掃活動を行っています。この活動を通じて地域住民の方々の意識高揚、不法投棄の抑止力に繋がればとの思いで取り組んでいます。

ごみ分別研修会

9月19日(土)参加者:12名





水口テクノス さんに於いてご み分別研修会 を実施しました。 ごみのリサイク

ルについてのお話を聞きながら、空き缶プレス機やペットボトル用の圧縮機などを見せていただきました。回収した後どのようにリサイクルされているのか見る機会がなく、大変貴重な時間になりました。

啓発事業

伴谷小学校および伴谷 東小学校の児童(5・6年生)を対象に環境標語を募集し、各小学校の最優秀作品を看板にして、各区に配布しました。また、のぼり旗の設置・破損確認と交換も実施しました。



環境PR



伴谷地区文化祭において、環境部会の取り組みについての展示を行いました。

^{令和2年度} 標語コンクール 最優秀作品

谷

D

ゃ

大切

環 境を 46 < 春夏秋冬 L なで Ť LI 創る < 輝 く町 は 未 来の 分 伴 か 谷 伴谷東小学校 丸見 優衣香

2**

がはんたに自治振興会



防災·防犯部会

防災研修会

10月25日(日)参加者:91名

今年度は地域防災アドバイザー の堀池宏さんをお招きし、防

災講演会を開催いたしまし た。

甲賀市が配布している防 災マップを見ながら伴谷 地域の災害に関して詳しく お話していただきました。伴

谷地域では水害、土砂崩れの箇

所が民家に近い場所で発生する恐れがあり、お住まいの地域の「災害リスク」を知る大切さを改めて感じました。

啓発事業

小学生児童の交通安全、 防犯を目的に防災・防犯 部会員によるパトロールを 実施しています。





啓発看板・のぼり旗

昨年設置した、のぼり旗 が破損していないかを確認し、 新しいものに交換・設置し ました。



健康福祉部会

ばんたにらんど



地域で安心して子育てができるように親子が集う場、「ばんたにらんど」も今年で 10 年目に入りました。多い時は 60 名以上の参加があり保護者同士、またお子さん同士の交流の場になっています。

これからも親子で楽しんでいただけるよう、スタッフ 一同頑張っていきます。

> 今後の予定 *3月26日(金) *4月23日(金)

※コロナウイルスの状況により開催を中止する 可能性があります。予めご了承ください。

第2回健康ウォーキング

10月27日(火)参加者:18名



今回は「水口宿」東見附までを訪れました。 伴谷を出発し、ひと・まち街道交流館で休憩し、 その後北通りを通り水口小学校の旧図書館や山倉を

> 見ながら大岡寺まで行き、高札場、 本陣、脇本陣、東見附までを ボランティアガイドさんの説明 のもと巡りました。

今回のウォーキングは過去 最高の 12 キロの距離を歩きました! お疲れさまでした。

第1回健康ウォーキング

9月26日(土)参加者:33名

福祉バスを利用し甲賀町夢の森公園まで移動し、そこから油日神社までの約8キロをボランティアガイドさんの案内のもと歩きました。

油日神社では楼門の左右から廻かい廊が延びており、重々しいたたずまいに参加者のみなさん見入っておられました。コロナウイルス対策の為、マスクを着用しながらのウォーキングとなりましたがみなさん楽しんで参加してくださいました。



第3回健康ウォーキング

11月21日(土)参加者:42名

今回は三重県亀山城跡付近を散策する約 6キロのコースを歩きました。

亀山公園を出発後、 加藤家屋敷跡、野村一 里塚、西之丸外堀、多 門櫓などを地元のボラン



ティアガイドさんの説明を受けながら見て回りました。

野村一里塚は、400 年間歴史を見守り続けてきた 椋の巨木があり、その立派さに参加者のみなさん圧倒 されていました。

また亀山城の説明では、丹波亀山城(現在の京都府亀岡市)と伊勢亀山城(現在の三重県亀山市)を間違えて解体してしまったという伝承話をお聞かせくださいました。



健康福祉部会

一人暮らし高齢者の集い

10月24日(土)参加者:63名

伴谷地区地域福祉事業として「一 人暮らし高齢者の集い」を開催しました。

70 歳以上で一人暮らしをされている 32 名の

方が参加されました。催し物では「ポケット」さんによる大型 紙芝居や「笑い福ろはっぴーず」のバラエティーショーを観賞し、 みなさん楽しい時間を過ごされました。



命のバトン

平成23年から取り組んでいる「命のバトン」は、今年で10年目になります。年齢・家族構成に関わらず希望される方(家族がいても昼間は一人で不安な方、高齢者夫婦家庭で心配など)は、どなたでも申し込みがで



きます。各地区の区長または民生委員児童 委員までご連絡ください。

100万歩運動 参加者:115名

昨年度の達成結果は50万歩81名、100万歩79名、200万歩42名が達成されました。 今年度は過去最高の100名を超える方が

参加され、日々「歩くことから始める健康づくり」に取り組まれています! 詳しくは、ばんたに自治振興会または伴谷地域市民センターへお問い合わせください。



スポーツ・青少年育成部会

花いっぱい運動

6月・11月各区に配布

花の育成を通じて、自然の敬愛の心と優しさを育成する 事を目的に年2回季節の花苗を配布しました。







体育大会、こども自然体験広場、料理教室など、毎年お子さまから年配の方と様々な世代に楽しんでいただいている事業ですが残念ながら今年度は、コロナウイルスの影響により多くが中止となりました。

昨年度の様子などホームページにてご覧いただけます!

ホームページ

ばんたに自治振興会



でご覧ください!!

クリック!!

また水口交流センターにてチラシや申し込み用紙を設置 しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。



件谷地域市民センター 2021.1



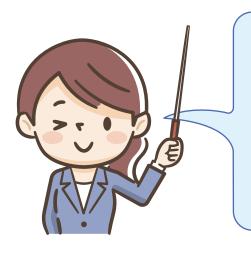
水口交流センター内 な 0748-62-4982



~ 外国人と話そう



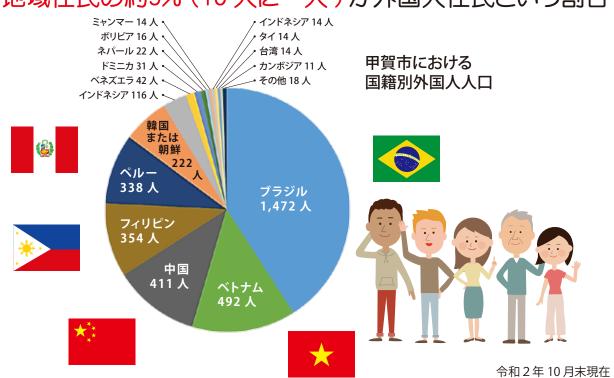
~ 伴谷地域にはたくさんの外国人の方が住んでおられます~



- ●甲賀市の総人□ 90,212人
 - うち 外国人 3,708 人
- ●水口町の総人口 41,205 人
 - うち 外国人 2,547 人
- ●伴谷地域の総人□ 11,718 人

うち 外国人 1,074 人

伴谷地域住民の約9%(10人に一人)が外国人住民という割合



信えてみよう! 話してみよう

言葉の壁をこえて、共に理解・尊重し合い、生活のルールや習慣 なども地域の人同士で学び合い、住みよい地域づくりが大切です。



~まずはポルトガル語であいさつしてみませんか?~

ポルトガル語



Bom dia (ボン ジア) おはようございます Boa tarde (ボア タルジ) こんにちは Obrigado (オブリガド) ありがとう



『やさしい日本語』のはじまり

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災では日本人住民に 比べ外国人住民の死亡率は約2倍、負傷率は約2.4倍でした。

この反省から、発災後、救援が到着するまでの72時間を外国 人が生き延びるために、どのような言語で情報提供すればよい のかという課題が浮上しました。これに対し専門家が調査したと ころ、英語でも中国語でもなく、簡単な日本語が一番通じたと いうことがわかりました。



その後「迅速に」「正確に」「簡潔に」情報を伝えるため研究が進み考え出されたの が『やさしい日本語』です。災害時だけでなく、自治会のお知らせや日常生活のコミ ュニケーションにも使われるようになりました。

《入門・やさい、日本語 外国人と日本語で話そう 参考》

やさしい日本語





「避難」

「たべることが できません のむことが できません |

「土足禁止」→「くつをぬいでください」

「粗大ごみ」 ➡ 「机や椅子など 大きいごみ」

→ 「にげる」